

第13期開放講座 「水と街道」だより 《第4回》

発行：平成24年1月発行
発行元：国土交通省中部地方整備局
多治見砂防国道事務所
開放講座「水と街道」事務局
電話：0572-25-8020

【第4回 開催概要】

開講日時：平成23年12月8日(木) 10:00~15:30

内容(場所)：砂防現場見学(雲五川床固工群、虎溪山山腹工)、現場見学(「水と街道」小里川ダム里山教室活動現場)

砂防現場見学(雲五川床固工群 -土岐市-)

当日はあいにくの小雨でしたが、はじめに土岐市にあります肥田川の支川、雲五川に建設された雲五川床固工群の見学から始まりました。

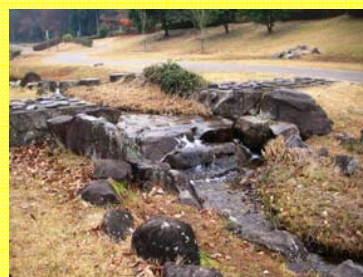
雲五川床固工群は、土岐市にある「陶史の森」内のせせらぎ公園と共に整備され平成10年に完成しました。

人々が安心して水辺に近づけるように整備され、親水や景観に配慮した構造になっています。

会員の中には、「公園の中にこのような施設があるなんて知らなかった。」と感慨深げでした。



(今回の説明者の妻木出張所小幡所長と同出張所加藤技術係長)



雲五川床固工群 諸元

(施設諸元)

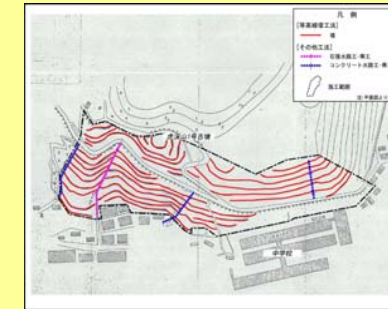
完成年度：平成10年度
延長：522m
床固工(擬岩)：2基
帯工：6基
計画洪水流量：18m³/s

砂防現場見学(虎溪山山腹工(等高線濠工法)-多治見市-)

次に多治見市に移動して虎溪山山腹工の現場を見学しました。昭和27年に日本で初めて採用され、現在は広葉樹の樹林となっています。緑の戻った虎溪山の山中の紅葉の色がとても印象的でした。



(説明に聞き入る会員のみなさん)



(施工平面図)

「等高線濠工法」とは、等高線状に濠(溝)を掘り、降雨をできるだけ多く山腹に滞留・吸収させ植物の生長を促すとともに、急激な雨水の表面流出を防ぐ工法です。

小里川ダム里山教室活動見学(-瑞浪市-)

最後に、当講座OBによる地域づくり団体「水と街道」小里川ダム里山教室の活動現場を見学しました。小里川ダム湖岸の原石山広場から、会員が4班に分かれ遊歩道を歩きながら、団体のこれまでの活動実績やこれからの活動予定を聞いたり、「この木なんの木？」の樹木名当てクイズゲームを楽しみ、あっという間に時間が過ぎました。



(原石山広場で説明をする小里川ダム里山教室代表の山田さん)



(真剣に樹木の名前を考える会員のみなさん)



【第4回 出席者データ】

多治見地区	14名(会員数 19名)
中津川・木曽地区	14名(会員数 19名)
合計	28名(38名)



(小里川ダム里山教室のみなさんの手による「あじさい小屋」の前にて)



(遊歩道よりダム湖を臨む)

